



準備： Linuxのインストールと初期設定

桑野 雅彦

まず、ARMコンピュータRaspberry Piを楽ちんにちゃんと使うようにするために、Linuxをインストール、初期設定を行います。初期設定のおおまかな流れを図1に示します。

必要になるものを用意し、起動と初期設定、初期設定を反映するための再起動、電源を切る前に必要なシャットダウンの方法を紹介します。

動作確認に必要なもの

Raspberry Piを起動し、動作をひと通り確認するのに必要なものを表1に示します。

マウスはX Window Systemを立ち上げないならば、なくてもかまいません。

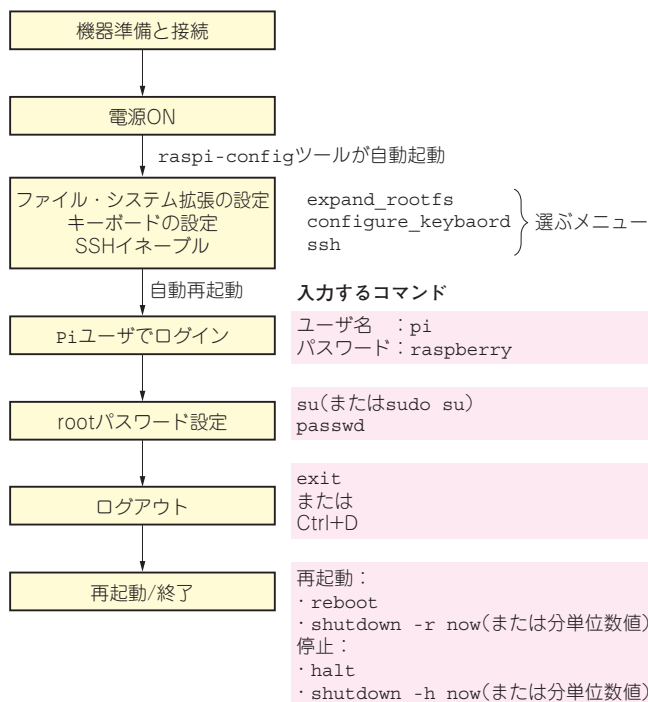


図1 Raspberry Piの初期設定の流れ

● その1：電源供給用ACアダプタ&USB-microBケーブル

USB充電用アダプタとUSB-microB接続ケーブルは、Raspberry Piへの電源供給用です。Raspberry Piは5V単一電源で動作しますが、TypeBの消費電流は公称700mA(ちなみにLAN機能のないTypeAは500mA)と、USB規格で1ポートから取れる最大電流の500mAを超えています。パソコンのUSBポートなどから電源を取ると保護回路が働いて電源供給を遮断されたり、USBポートが使えなくなる恐れがありますので、必ず専用のACアダプタを利用してください。

筆者は電気店で購入したUSB充電用アダプタを使用しています。iPad対応をうたう充電アダプタであればたいいてい2Aの供給が可能で、USB標準Aタイプのレセプタクルが付いています。1,500円程度で購入できるでしょう。

● その2：4GBバイトSDメモリーカード数枚

SDメモリーカードは1枚あれば動かせますが、差し換え用やパソコンとのファイル交換用(USB接続のSDメモリーカード・リーダー/ライタをUSBポートにつないでRaspberry PiでSDメモリーカードを読むことができる)としても使えますので、何枚か買っておくと便利だと思います。容量は4GB

表1 Raspberry Piの動作を確認するのに必要なもの

必要なもの	仕様
USB充電用アダプタ	1A以上
USB標準A-MicroB接続ケーブル	電源供給用
SDメモリーカード	容量4GBバイト以上
SDメモリーカード・リーダー/ライタ	USB接続
ディスプレイ	HDMI, またはコンポジット・ビデオ入力
ディスプレイ・ケーブル	—
USBキーボード	—
USBマウス	—
LANケーブル	—